

川部自治会長から
 今年度は新型コロナウイルスの影響により自治会活動が制限されましたが、この現状が改善に向かった際には、今まで以上に自治会員の交流や絆を深めながら自治会活動に取り組んでいきたいと思

力再生に繋がっています。
 伝統文化や行事を中心とした住民の交流や親睦を深める取り組みが、更なる地域コミュニティの活力再生に繋がっています。

川部自治会では、自治会館の敷地を活用し、住民間のコミュニケーションを図り交流を深めるための拠点づくりとして、自治会員による協力のもと、東屋の整備に取り組みました。
 昔から受け継がれている綱引き行事や熊野神社の祭典など、東屋を拠点に、伝統文化や行事、自治会員が集い交流する場として活用されています。

川部自治会の取り組み

集落支援員活動事業と市の補助制度を活用した取り組みをご紹介します。

取組内容



綱引き行事の様子



集落支援員活動事業
 集落支援員は、自治会の現状を把握するための「状況調査」を行い、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などについて「話し合い」と「活性化活動」への取り組みを支援します。
 小規模な自治会（50世帯未満）を中心に支援しています。
 事業の活用を検討される自治会はお気軽にお問い合わせください。

川部自治会
 26世帯
 約90人

 市民共動課 共動推進班
 ☎ 30-0202

世界遺産登録に向けて

大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

大湯環状列石では、粘土でできた土製品が多く見つかっており、その中にキノコ形土製品と呼ばれるものがあります。青森県を中心とした北海道南・東北地方にかけての、縄文時代中期末から後期前葉の遺跡から出土しており、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する北秋田市の伊勢堂遺跡や青森市の小牧野遺跡でも見つかっています。

大湯環状列石では、48点のキノコ形土製品が出土しています。傘の部分小さいもので約2cm、大きいもので約10cmあり、平らなものや湾曲しているもの、軸が曲がっているもの、真っ直ぐなものなど、大きさや形がさまざまです。キノコ形土製品は祭祀を行う際に使用した道具ではないかと考えられています。一方で、キノコ形土製品の多くは食用に適したキノコ

【参考文献】
 工藤伸一、鈴木克彦 1998
 「キノコ形土製品について」
 『研究紀要』3 青森県埋蔵文化財センター



大湯ストーンサークル館で展示中のキノコ形土製品

世界遺産 大湯環状列石

世界遺産登録に向けた取り組み

大湯環状列石の出土品④ 「キノコ形土製品」

大湯環状列石では、粘土でできた土製品が多く見つかっており、その中にキノコ形土製品と呼ばれるものがあります。青森県を中心とした北海道南・東北地方にかけての、縄文時代中期末から後期前葉の遺跡から出土しており、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する北秋田市の伊勢堂遺跡や青森市の小牧野遺跡でも見つかっています。

キノコの形をしていることから、縄文人が食べられるキノコとそうではないものを見分けるために、土製品を使用していたのではないかと、この見解もあります。
 キノコには食べると体調を崩すものもあるので、もしかしたら現代でいうところのキノコ菌鑑だったのかもしれない。



MY-SOPRON-LIFE (私のショプロン生活)

ブログ公開中 <https://my-sopron-life.blogspot.com/>

日本語教室が始まり、2カ月が経ちました。初めの数週間は決められた授業数をこなすことで一杯でしたが、授業が軌道に乗ってくると余裕ができ、授業中も授業後も生徒といろいろなことについて話し、仲を深めることができました。その結果、お家に招待してくれたり、私のアパートに招待して食事をするといった機会が増えました。この2カ月は、生徒とたくさん交流ができた月でした。
 週末に誕生日を迎えた生徒の家では、特別な料理をご馳走になりました。ハンガリーでも日本と同じく、誕生日にはケーキでお祝いするのが一般的です。今回は栗を使ったケーキをいただきました。日本で栗を使ったケーキといえばモンブランを思い浮かべると思いますが、ハンガリーでは、ロールケーキの中に栗のクリームが入っているものや、スポンジケーキの上に栗のクリームが乗っているものが主流です。濃厚でしたが食べやすく、つい食べ過ぎてしまいました。



アパートでの日本食パーティー

また、別の週末には、数人の生徒を自分のアパートに招待し、日本から持ってきたカレーのルーを使って、一緒にカレーを作ってみました。ハンガリーのシチュー「グヤーシュ」に似ていると好評でした。グヤーシュはカレーに比べてスープがさらっとしていますが、野菜を煮込んだり、スパイスを使用する点ではカレーと似ています。いろいろな方からハンガリー料理のレシピを教わり、自分でも作ってみるのですが、なかなかうまくいきません。やはり、ハンガリーの方に作ってもらおう。ハンガリー料理が一番おいしいですね。今後も多くの生徒と交流を深め、その様子を紹介していきますので、楽しみにしてください。

国際交流員ダンコー・アンドレアさんの
HAJRÁKANUNO!
 ※「ハイラー」はハンガリー語で「頑張れ」の意味

気持ちを明るくする真っ白い冬の
 日本の2月は、ハンガリーに比べて楽しみがいっぱいです。
 ハンガリーでの冬の楽しみは、クリスマス期間のライトアップと、なまはげに似ている南ハンガリーの「ブショー祭り」、毛むくじやらの豚「マンガリツァ」(食べられる国宝)の祭り、凍った湖でのスケートがあります。
 私はこれらよりも、やはり景色を楽しみながら滑るスキーの方が好きなので、鹿角の白くて長い冬は楽しみがいっぱいです。鹿角に来て、初めて生でスキー大会を見ました。頑張っている選手と熱心に応援している皆さんの姿は素敵に思い出になりました。
 今年の市内での初体験は、道の駅あんたらあで開かれたスノーキャンドルイベントです。以前、鹿角で初体験したイグルー(雪の家)作りを思い出しましたが、今回は小型で、バケツと筒を使って雪灯籠を約30個作りました。夜のライトアップと解説付きの冬の火花は感動的でした。



ブショー祭り



夜でも明るい鹿角の雪景色

それから、今年は大雪のため雪下ろしも初めて体験できました。また、スノーシューはオーストリアでも体験したことがあります。2年前の八幡平頂上の樹氷ツアーに続き、今年は中滝の滝巡りでも体験してみました。
 クーポン券を使った外食では、初めての店にたくさん行くことができました。これからも行きたいですが、体重が増えたのでちょっと気を付けたいといけません。
 最後になりましたが、冬の温泉が一番で、ハンガリーの温泉は現在コロナで休館中ですが、鹿角で温泉を利用できてうれしいです。ハンガリーの親戚や友だちが明るい気持ちになるよう、私のたくさんさんの初体験と、晴れた日にはまぶしく夜でも真っ暗にならない鹿角の雪景色を届けていきたいです。

フェイスブック公開中。「鹿角 CIR ダンコー・アンドレア」で検索してください。

